



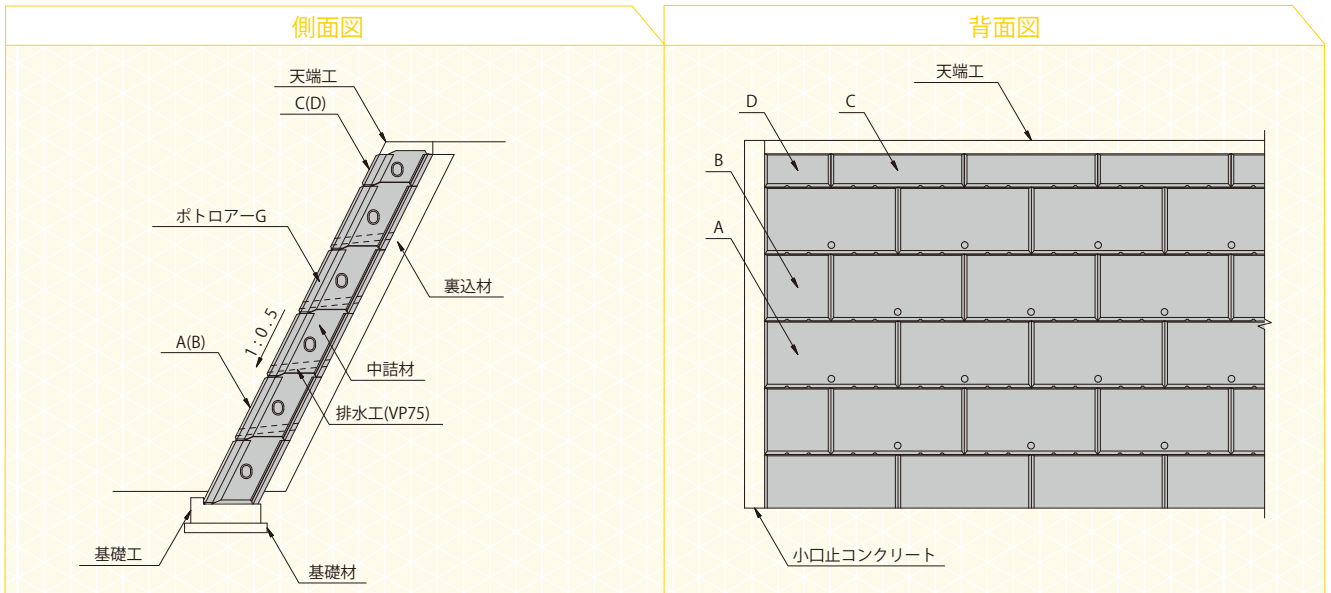
POINT

1. コンクリート二次製品なので、品質の均一性が保証されます。
2. 施工性に優れ、工期の短縮と省力化が図れます。
3. 水平に積み上げるだけで5分勾配となり、熟練工を必要としません。
4. 表面が擬石模様となっているため、周囲の景観に調和した擁壁となります。
5. 控幅が8種類あり、土圧の大きさによって合理的な擁壁を構築出来ます。
6. ブロックの形状が箱型であるため、中詰(胴込)材にコンクリートを充填することにより一体化し、強固な擁壁となります。

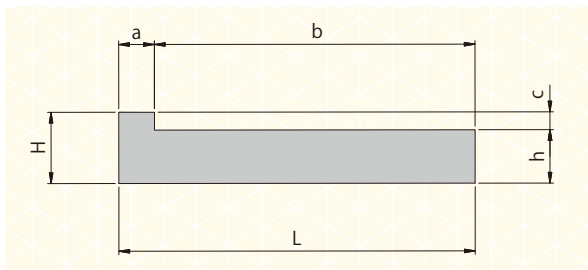
▶ 積ブロック

大型積ブロック ポトロアーG

参考標準図



参考基礎工図

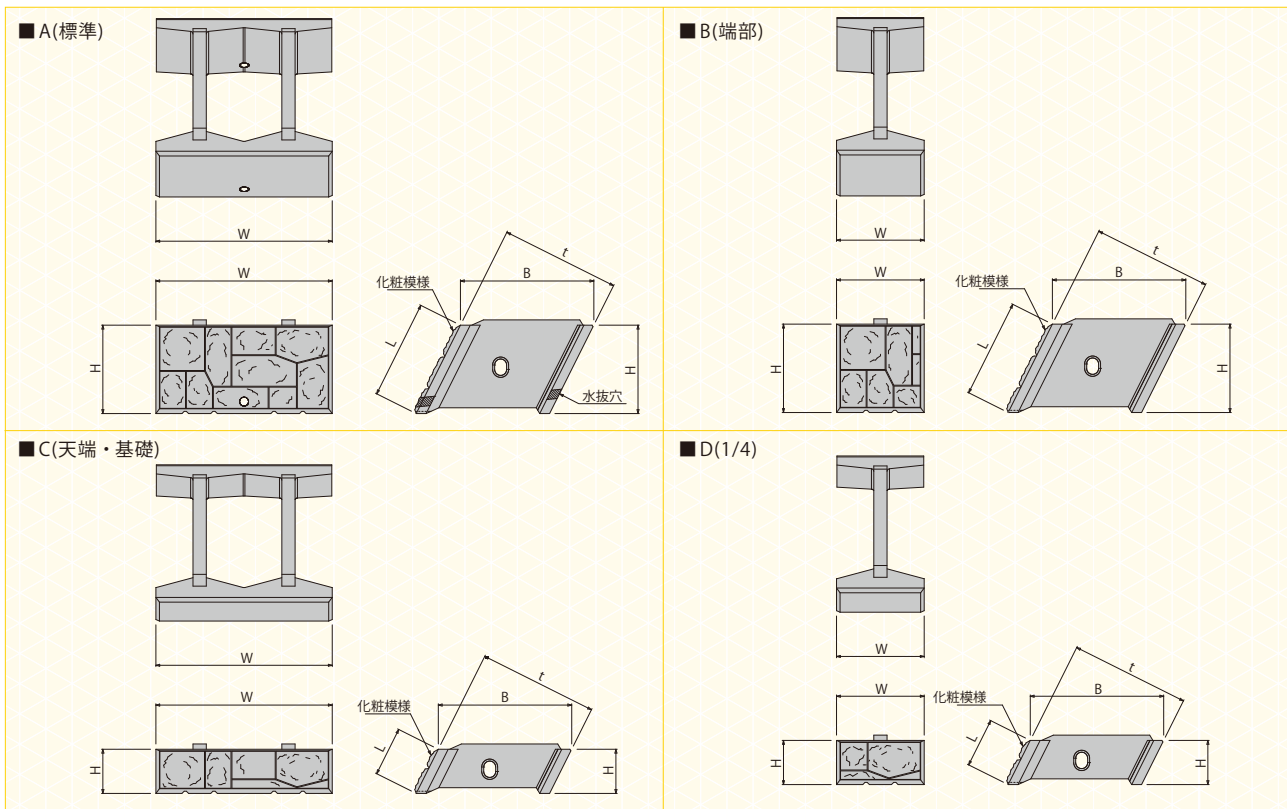


参考基礎工寸法

(単位:mm)

種類	a	b	c	h	H	L
750型	200	900	100	300	400	1100
780型		1000				1200
1000型		1200				1400
1200型		1500				1700
1350型		1600				1800
1500型		1800				2000
2000型		2300				2500
2500型		2900				3100

形状図



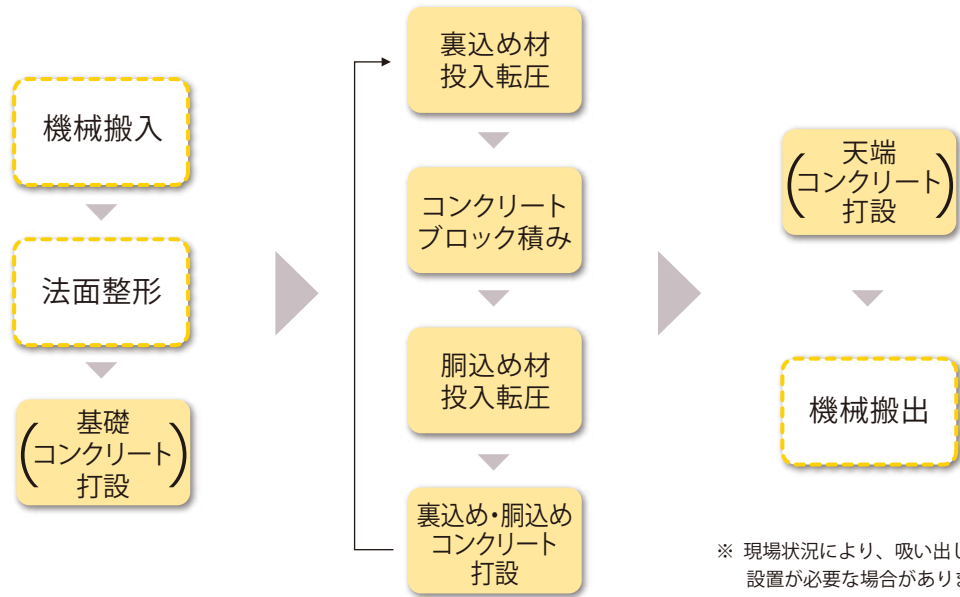
寸法表

規格	種類	形状寸法(mm)					参考質量 (kg/個)	中詰め体積 (m ³ /個)	のり長当たり 使用個数 (個/m ²)
		W(長さ)	H(高さ)	L(斜長)	B(控幅)	t(控長)			
750型	A	1995	1000	1118	839	750	1751	0.983	0.447
	B	992					873	0.492	
	C	1995	500	559			864	0.495	0.894
	D	992					429	0.249	
780型	A	1995	1000	1118	872	780	1903	0.983	0.447
	B	992					949	0.492	
	C	1995	500	559			940	0.495	0.894
	D	992					467	0.249	
1000型	A	1995	1000	1118	1118	1000	2072	1.401	0.447
	B	992					1033	0.702	
	C	1995	500	559			1024	0.705	0.894
	D	992					509	0.354	
1200型	A	1995	1000	1118	1342	1200	2225	1.782	0.447
	B	992					1110	0.892	
	C	1995	500	559			1101	0.895	0.894
	D	992					547	0.449	
1350型	A	1995	1000	1118	1509	1350	2340	2.066	0.447
	B	992					1168	1.034	
	C	1995	500	559			1158	1.038	0.894
	D	992					576	0.520	
1500型	A	1995	1000	1118	1677	1500	2455	2.352	0.447
	B	992					1225	1.177	
	C	1995	500	559			1215	1.181	0.894
	D	992					605	0.591	
2000型	A	1995	1000	1118	2236	2000	2805	3.323	0.447
	B	992					1399	1.662	
	C	1995	500	559			1389	1.666	0.894
	D	992					690	0.834	
2500型	A	1995	1000	1118	2795	2500	3163	4.285	0.447
	B	992					1578	2.143	
	C	1995	500	559			1555	2.153	0.894
	D	992					773	1.078	

注：製品改良のため、形状寸法を予告なく変更することがあります。

新製品
L型擁壁
積・張ブロック
ボックスカルバート
側溝・道路用製品
柵・マンホール
スラブ
農業用製品
その他

コンクリートブロック積工施工フロー



※ 現場状況により、吸い出し防止材の設置が必要な場合があります。

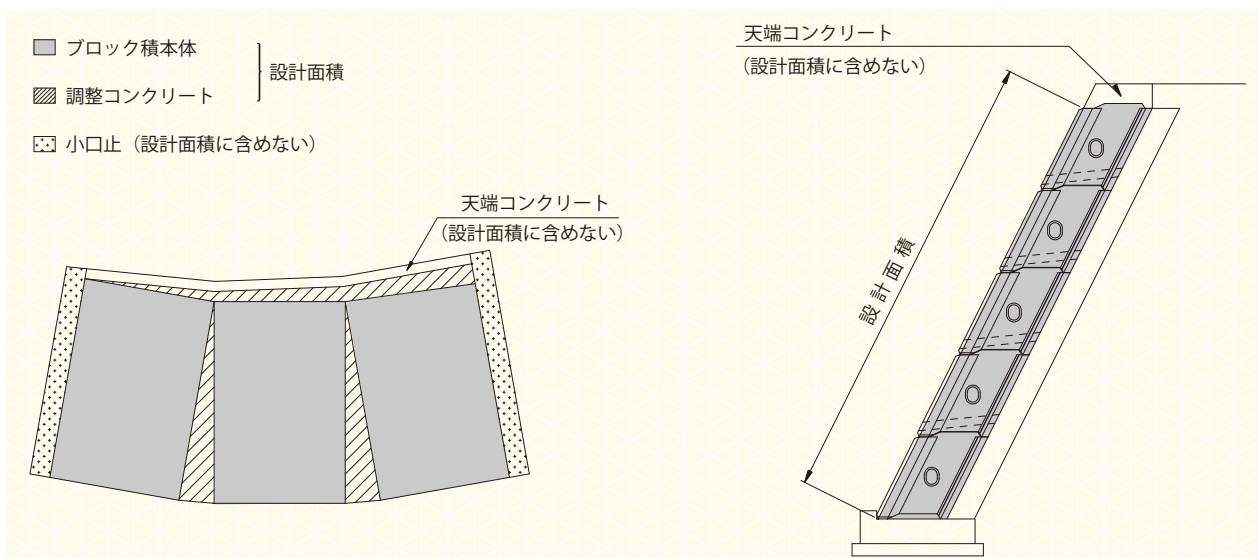
コンクリートブロック積(張)工歩掛

150kg/個 以上	土木一般世話役		人	0.2
	ブロック工		〃	0.8
	特殊作業員		〃	0.4
	普通作業員		〃	
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	日	
	諸雑費		%	端数処理(4)

(注)

- 1) 施工歩掛には、鉄筋の加工・組立歩掛を含みます。ただし、鉄筋は必要により計上とし、使用量は設計量×1.03とします。
- 2) ()内の諸雑費は、水抜きパイプ(水抜き孔用吸い出し防止材を含む)を設置した場合の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。
- 3) ラフテレーンクレーンの運転は、コンクリートブロック、胴込め・裏込めコンクリート、胴込め・裏込め材の吊り上げ、吊り下げ作業を含みます。
- 4) ラフテレーンクレーンは、賃料とします。なお現場条件等により25t吊で施工が不可能な場合は、規格以上で最適の機種を選定するものとします。
- 5) 運搬距離30m程度の現場内小運搬を含みます。
- 6) 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上することができます。
- 7) 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止め、天端コンクリートは別途計上します。(参考図参照)

参考図



施工現場写真



沖縄県 宜保地区



長崎県 中尾川



熊本県 黒尾谷線



長崎県 国道382線



福岡県 名柄川



新製品

L型擁壁

積・張ブロック

ボックスカルバート

側溝・道路用製品

柵・マンホール

スラブ

農業用製品

その他



POINT

1. 明度・彩度が低い製品です。表面テクスチャーも粗面仕上げです。
2. 豊かな景観を創出して周辺の環境に良く馴染みます。
3. 表面凹凸層による吸音効果があります。(騒音低減の寄与)
4. 表面凹凸層が光の乱反射を抑えます。(夜間、雨中のヘッドライトなど)
5. 従来間知より擁壁表面の温度が低く、温暖化対策に寄与します。
6. 落書き防止に寄与します。

※ 従来間知と同様に道路擁壁・法留・土留・造成工事等 施工現場を選びません。

▶ 積ブロック

スプリットブロック(割石) スマート間知

JIS A5371 附属書D 推奨仕様D-1

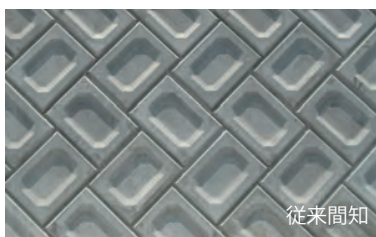
従来間知との比較

◆ 「スマート間知」と「従来間知」の共通部分

- ◎ 歩掛かり(設計単価)は「市場単価」方式(コンクリートブロック積工【材工共】)です。
- ◎ 1㎡当りのブロック重量は同じです。
- ◎ 「基礎工」・「天端工」なども同形状です。
- ◎ 製品控長は35cmで同じです。
- ◎ 施工手順・方法なども同じです。

製品種類	(個数/㎡)	(kg/個)	(kg/㎡)
スマート間知	10.0	35	350.0
従来間知	8.333...	42	350.0

製品種類	特性	明度	テクスチャー
スマート間知	景観	低い	◎
従来間知	-	高い	△



従来間知



スマート間知

明度証明

明度 5.0



- 割石製法による、変化に富んだテクスチャー
- 明度・彩度を抑えた、景観豊かな間知ブロック

施工写真

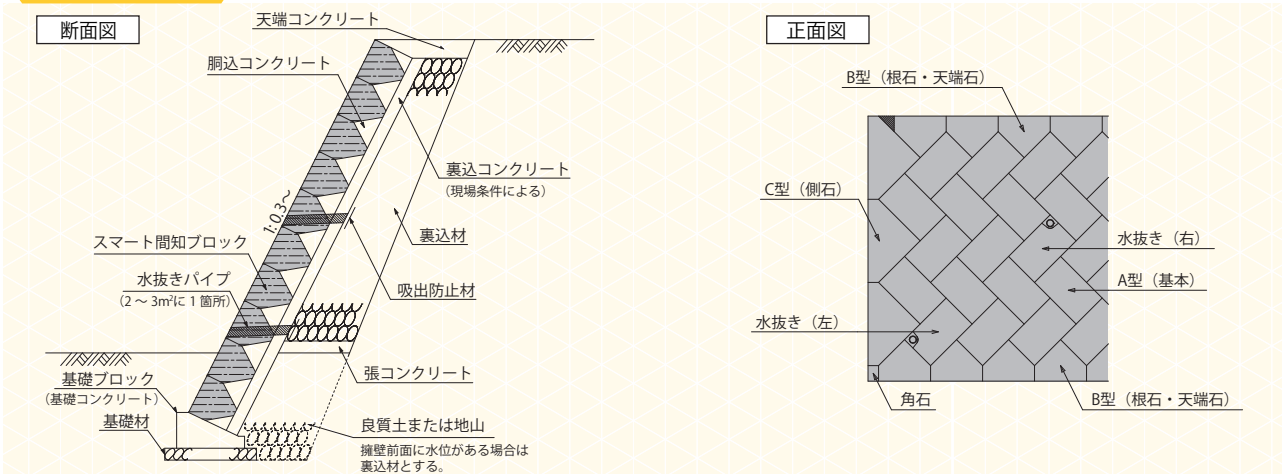


福岡県(動植物園)



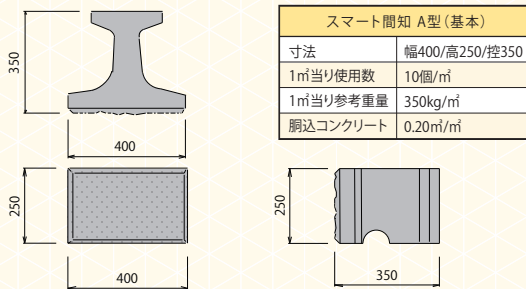
福岡県(乙金造成)

参考標準図

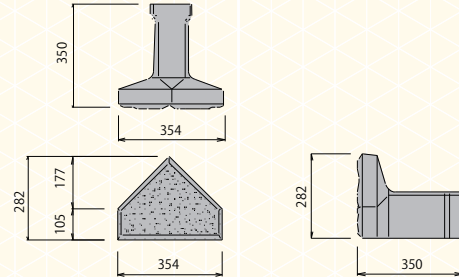


形状寸法図

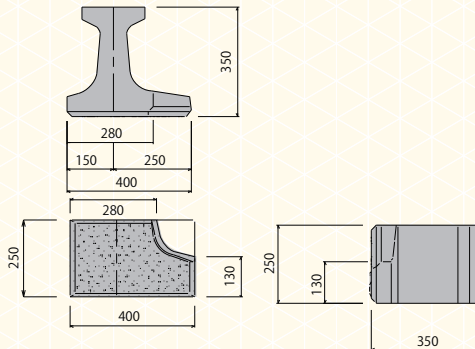
■A型(基本) 参考重量: 35kg/個



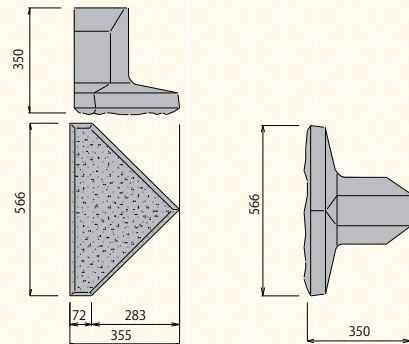
■B型(根石・天端石) 参考重量: 22kg/個



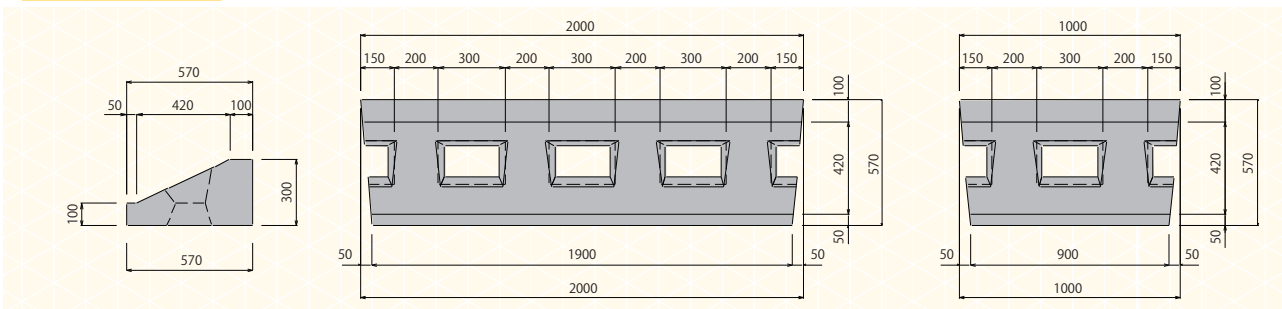
■水抜き ※左右対応できます



■C型(側石) 参考重量: 40kg/個



基礎ブロック



■諸元表

基礎ブロック	適用勾配	製品長	参考重量	胴込量	
		mm	kg/個	m ³ /個	10m当り (m ³)
標準型	1:0.3 ~	2000	440	0.041	0.205
端部型		1000	215	0.020	



POINT

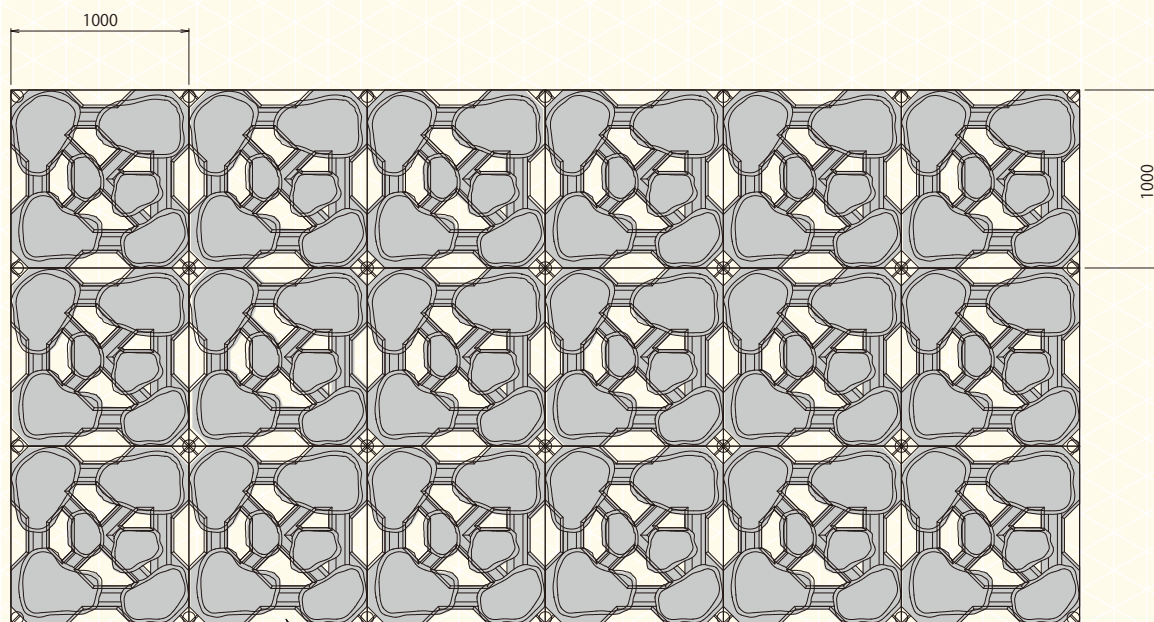
1. 擬岩ブロック間を梁で一体化した大型連結ブロックです。
2. 一体構造のため、寸法のズレがなく、施工性に優れています。
3. 空隙率が大きいいため、植物の根が張りやすく、豊かな多自然環境を創り出します。
4. 変化に富んだ擬岩の配置によって、より自然な景観を創り出します。

▶ 張ブロック

多自然型連結ブロック ジェロック

用途

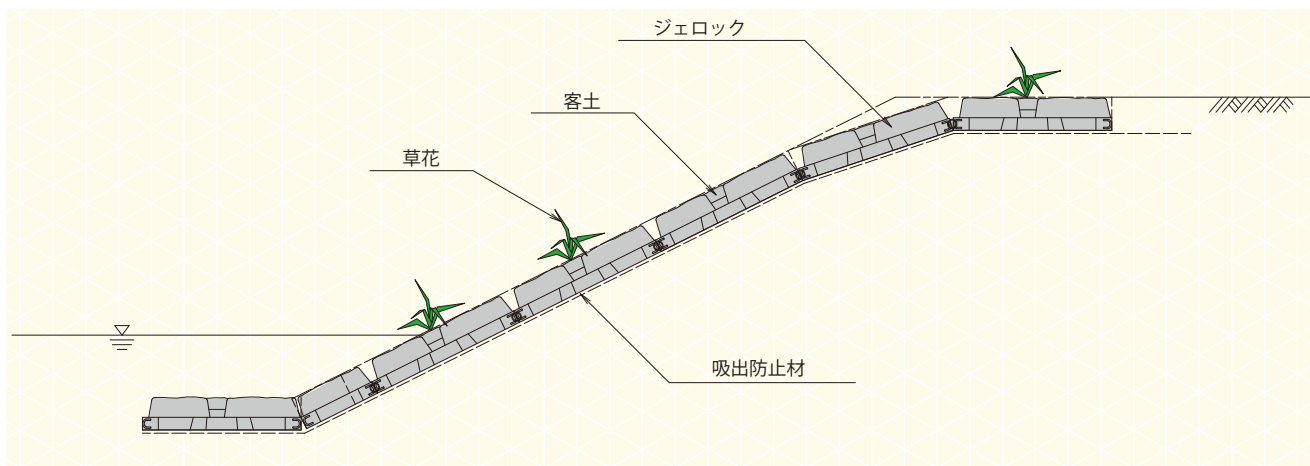
- ・河川護岸工事(生態系の保全・復元や河川の景観環境が求められる護岸)
- ・調整池・ため池などの法面工事



客土

※ブロックは金具で連結します。

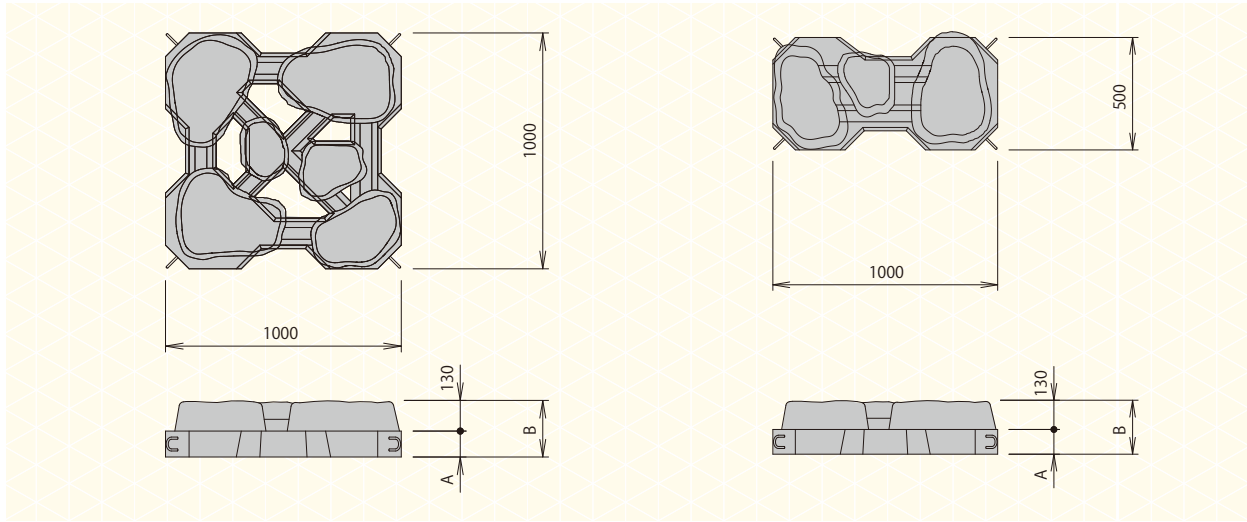
標準断面図



形状図

基本型

半型



■規格

A (mm)	B (mm)	体積 (m ³ /個)	重量 (kg/個)	客土量 (m ³)
130	260	0.162	380	0.098
120	250	0.153	360	0.097
110	240	0.145	340	0.095
100	230	0.141	330	0.089

※地域によって質量の誤差が生じます。

◎空隙率(見かけ)約50%(擬石端部)
〃(平均)約38%

据付歩掛り表

名称	品種	数量	単位	備考
ジェロック	1000×1000	100.0	個	
据え付け工	世話役	1.0	人	据付け金具取付
"	ブロック工	2.0	人	"
"	特殊作業員	1.0	人	"
"	普通作業員	2.0	人	"
連結金具		125.0	個	
ホイールクレーン運転	油圧式25t吊	1.0	日	
吸出し防止材		100.0	m ²	必要に応じて計上
客土材投入工			m ³	必要に応じて計上

(国土交通省 土木工事積算基準コンクリートブロック積(張)工より)

施工写真



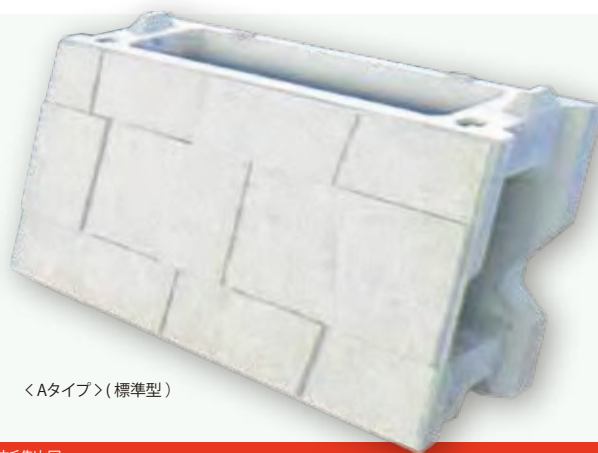
福岡県(樋井川)



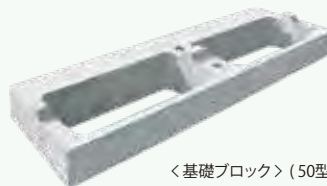
福岡県(樋井川)

POINT

1. 優れた安定性
2. 施工が簡単・安全・早い
3. 優れた経済性
4. 宅地造成工事に使用可能
5. あらゆる環境にマッチ



<Aタイプ>(標準型)



<基礎ブロック>(50型)



<Bタイプ>(縦半分型)



<Cタイプ>(横半分型)

▶ 新製品

水平自立積大型ブロック レベロック

● NETIS 登録 No.KK-080003-VE

宅造大臣認定基準適合商品

特徴

1. 優れた構造安定性

ブロック練り積み擁壁としての壁体重量、一体性、コンクリート強度等は標準設計と同等以上となっており、一般的な積みブロックと同様の使用が可能です。

2. 施工が簡単、安全、早い

ブロックは全てのサイズ、全ての勾配で水平自立する為、熟練工でなくても、誰でも簡単に、安全に、短期間に施工できます。

3. 優れた経済性

製品サイズが1㎡/個と大型なため、重機施工となり、積みスピードが大幅にアップします。さらに、裏コン対応用のブロックを使用することで裏型枠・裏コン作業が不要となり、さらなる低コストの施工が可能となります。

4. 宅地造成工事に使用可能

この製品は、宅地造成規制法、第15条に関する国交省告示(第1485号)に定められたコンクリートブロック練り積み擁壁に関する各号の基準を全てクリアしており、大臣認定擁壁ブロック同等品として宅地造成工事に使用可能です。

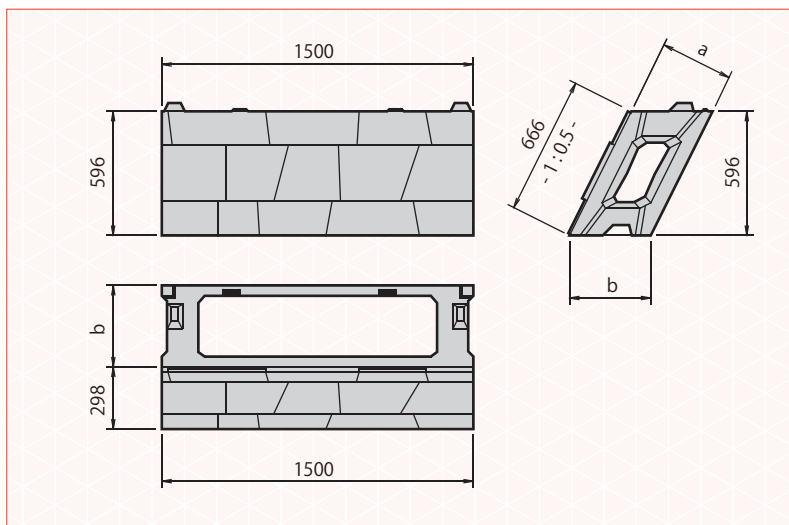
5. あらゆる環境にマッチ

ブロック表面の様子は自然景観にもよくなじむ石模様です。

形状図

5分勾配用

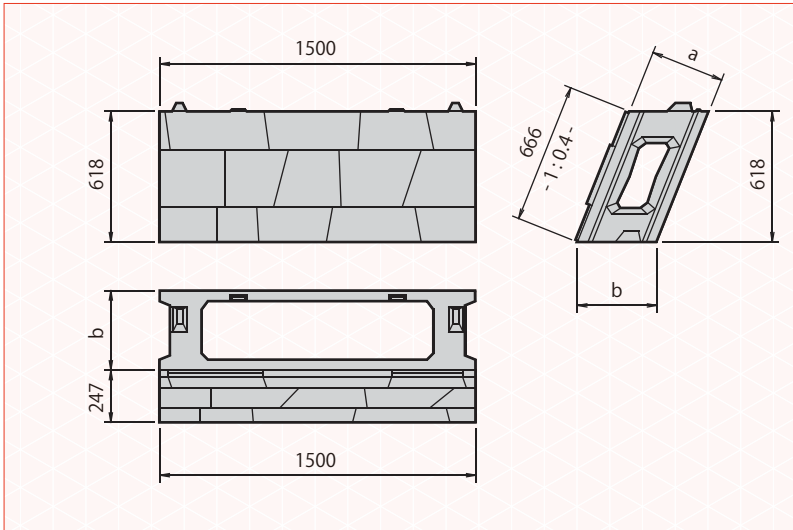
Aタイプ(666×1500)



規格	a	b	標準重量
35型	350	391	435kg
50型	500	559	475kg

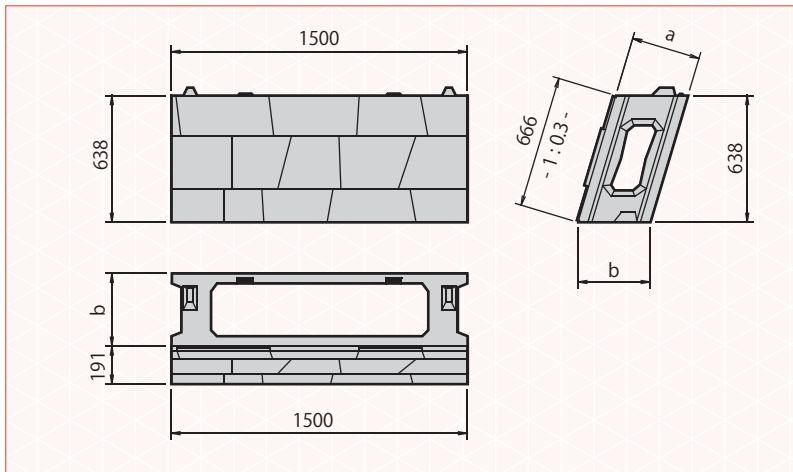
形状図

4分勾配用 Aタイプ (666×1500)



規格	a	b	標準重量
35型	350	377	445kg
50型	500	539	485kg

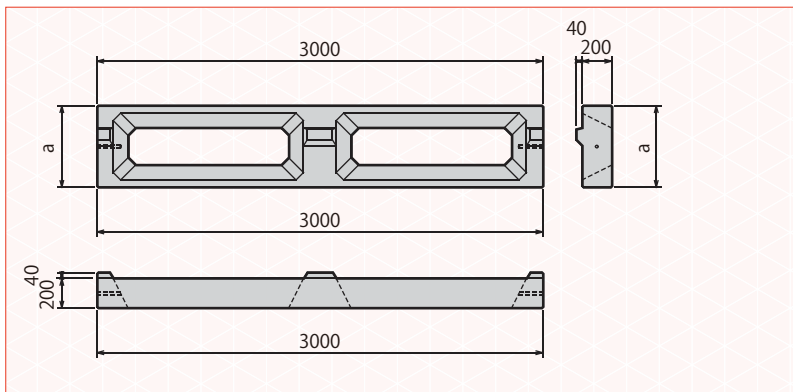
3分勾配用 Aタイプ (666×1500)



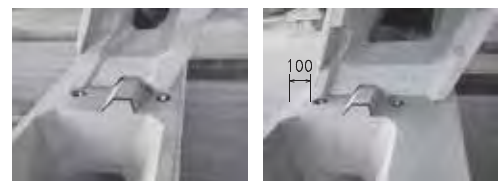
規格	a	b	標準重量
35型	350	365	450kg
45型	450	470	480kg
50型	500	522	490kg

※半切製品 (Bタイプ (666×750) Cタイプ (333×1500)) も製造可能です。

基礎ブロック



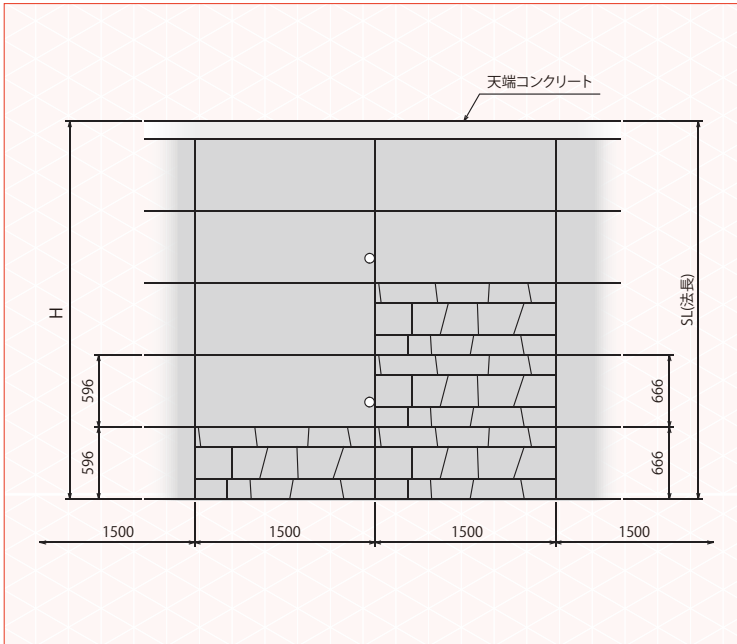
規格	a	標準重量
35型	550	365kg
50型	710	585kg



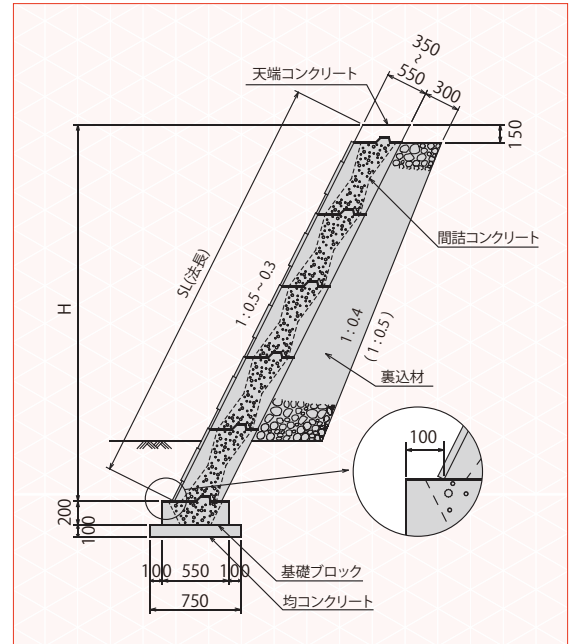
※基礎ブロック上段の突起の斜面が緩やかな方がブロック前面になります。

※L=1.5m も製造可能です。

展開図



参考断面図



数量表

レベロック (水平ブロック)

10㎡当り

名称	形状寸法		全数量	単位	備考
	規格				
レベロック	1500 x 666		10.000	個	
間詰コンクリート	5分	A35	1.775	m ³	
		A50	3.100		
	4分	A35	1.732		
		A50	2.991		
	3分	A35	1.710		
		A50	3.035		

基礎ブロック

10㎡当り

名称	形状寸法		全数量	単位	備考
	規格				
基礎ブロック	L = 3m		3.333	個	
間詰コンクリート	A35/A50	18N-8-20	0.557 (0.167)	m ³	

※ 1.()内は製品 1 個あたりの数量です。

※ 2. 必要に応じて 2~3 m²に 1ヶ所、水抜きブロックを使用願います。

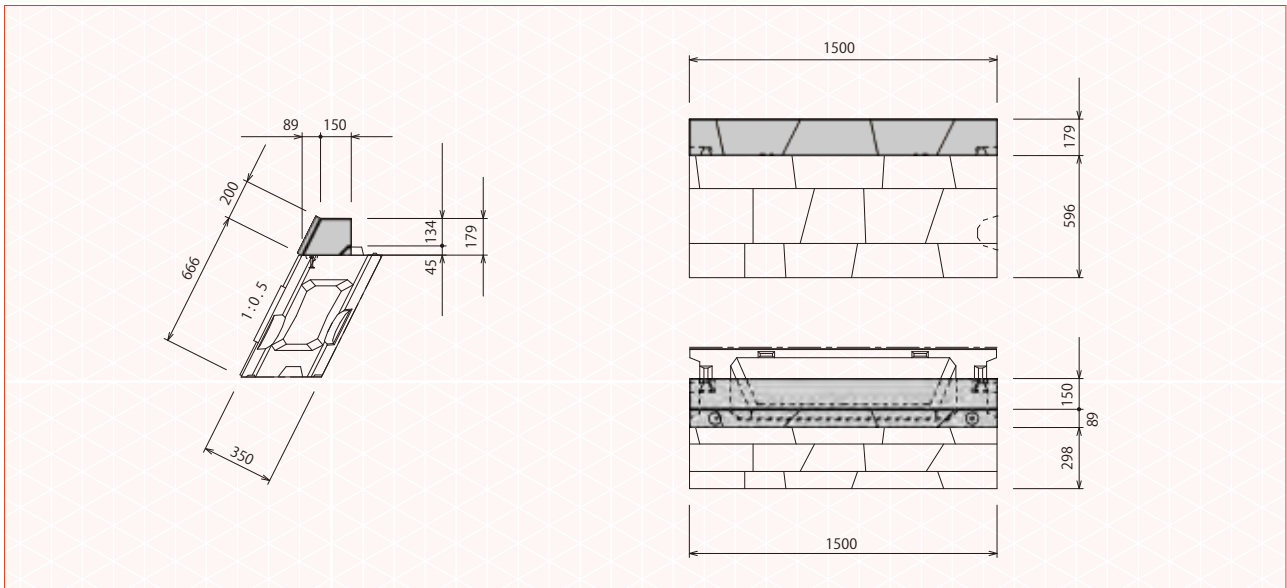
参考歩掛表 (NETIS 登録歩掛)

10㎡当り

世話役 (人)	ブロック工 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	クレーン 16t (日)
0.10	0.30	0.10	0.30	0.20

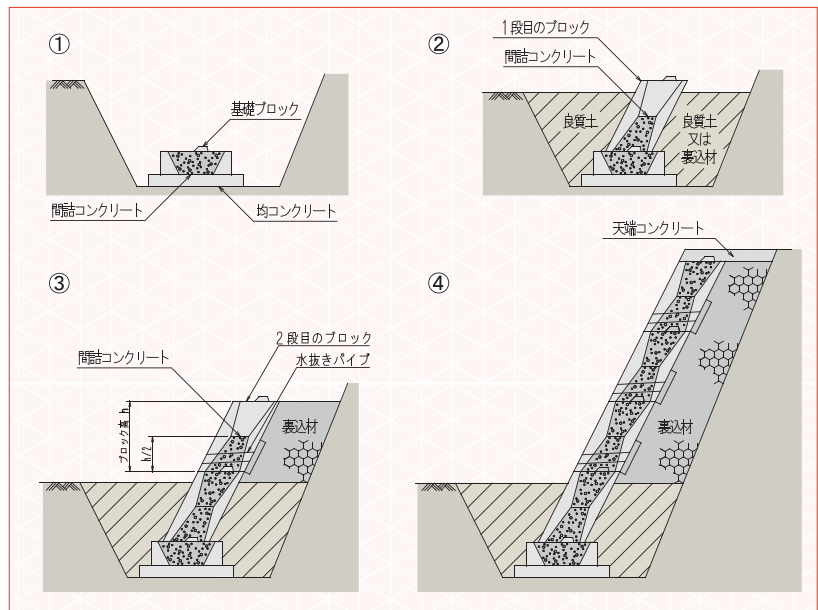
天端調整ブロック取付図

参考重量：120kg



施工要領

- ① 基礎ブロックの布設
均しコンクリートを設置した後、所定の位置に基礎ブロックを布設し、間詰コンクリートを天端まで打設します。
- ② 1段目のブロック布設
ブロックを布設した後、ブロックの裏側から良質土、又は裏込材で埋戻し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。
- ③ 2段目以降のブロック布設
ブロックを布設した後、裏込材を充填し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。(必要に応じて水抜きパイプを設置)
- ④ 天端コンクリート
天端コンクリートを施工して完了です。



現場打部の型枠

コンクリートパネル



1500 × 666 × 70

発泡スチロール型枠 (二分割)



1500 × 666 × 40